



2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月14日

上場会社名 マテリアルグループ株式会社 上場取引所 東
コード番号 156A URL <https://materialgroup.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役CEO （氏名） 青崎 曹
問合せ先責任者 （役職名） 取締役CFO （氏名） 吉田 和樹 TEL 03 (6869) 1100
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績（2025年9月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年8月期第3四半期	6,662	41.5	1,031	55.9	992	49.2	590	42.9
2025年8月期第3四半期	4,708	16.7	661	△5.3	665	1.6	413	△4.4

（注）包括利益 2026年8月期第3四半期 595百万円（44.2％） 2025年8月期第3四半期 413百万円（△4.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	61.84	61.04
2025年8月期第3四半期	42.34	41.95

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年8月期第3四半期	6,454	2,393	36.1
2025年8月期	3,896	2,212	55.4

（参考）自己資本 2026年8月期第3四半期 2,332百万円 2025年8月期 2,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2026年8月期	—	0.00	—		
2026年8月期（予想）				26.10	26.10

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	8,964	42.6	1,150	38.2	1,037	37.6	612	30.5	63.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) 株式会社マテリアルリンクス、株式会社トレプロ 除外 1社 (社名) -

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年8月期3Q	9,877,197株	2025年8月期	9,877,197株
② 期末自己株式数	2026年8月期3Q	427,599株	2025年8月期	245,009株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年8月期3Q	9,545,285株	2025年8月期3Q	9,755,211株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

決算説明資料はT D n e t で同日開示しております。また、当社ウェブサイトにて同日掲載しております。

(決算説明会内容の入手方法)

2026年7月21日に決算説明会をWEB配信にて開催し、説明会動画を後日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、「Switch to Red.」（個性に情熱を灯し、価値観や常識を変え、世界を熱くする。）をビジョンとし、また2026年8月期～2028年8月期を対象とした中期経営計画では、中長期のビジョンとして「PR発想をコアとしてマーケティング業界の第4極になる」を掲げ、マーケティングコミュニケーション（注1）領域においてPR発想/ストーリーテリング（注2）をコアとし顧客のブランドの成長を支援する事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、当社グループでは引き続き積極的な人材採用、案件管理体制の強化を行い、各事業の規模拡大を図りました。また前連結会計年度にはM&Aによって株式会社Bridgeがグループ参画し、“明日、選ばれるための戦略”であるPRと“今、選ばれるための戦略”であるデジタルマーケティングの融合を目指し、PRコンサルティング事業とデジタルマーケティング事業の連携をより深めております。加えて育成事業であるPRプラットフォーム事業では、TikTokを活用した採用支援を行う株式会社トレプロを2025年9月に100%子会社化し、同事業をグループ全体の進化の1つの軸とするべく注力しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、売上高6,662,689千円（前年同期比41.5%増）、営業利益1,031,035千円（前年同期比55.9%増）、経常利益992,101千円（前年同期比49.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益590,269千円（前年同期比42.9%増）となっております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（PRコンサルティング事業）

同事業に属する株式会社マテリアルについて、当第3四半期連結累計期間は、PRパーソンの採用も順調に進捗するとともに、代理店を通じた取引、直接販売取引ともに堅調に推移し、既存顧客からのリピート発注に加え、様々な業種の新規顧客の獲得が進みました。また、同事業に属する株式会社ルームズについて、当第3四半期連結累計期間では引き続き新規顧客の獲得に注力しました。加えて、キャンドルウィック株式会社においても、既存顧客からの案件の継続受注及び新規顧客の獲得に注力しました。

以上の結果、セグメント売上高は4,743,941千円（前年同期比17.8%増）、セグメント利益は1,095,790千円（前年同期比21.3%増）となりました。

（デジタルマーケティング事業）

当第3四半期連結累計期間では、前連結会計年度にM&Aにより子会社化した株式会社Bridgeとの連携を深めながら、デジタルを起点にしたコンサルティング業務の提供、PRコンサルティング事業で培ったPR発想/ストーリーテリングを活かしたデジタル広告運用支援及びクリエイティブ制作業務の提供に注力することで、既存顧客との取引の拡大、新規顧客の獲得が進みました。

以上の結果、セグメント売上高は1,117,254千円（前年同期比115.8%増）、セグメント利益は201,802千円（前年同期比71.6%増）となりました。

（PRプラットフォーム事業）

当第3四半期連結累計期間では、TikTokを活用した採用支援を行う株式会社トレプロ（2025年9月30日付でM&Aによって100%子会社化）、TikTok Shop等のソーシャルコマース領域を支援する株式会社マテリアルリンクス（前連結会計年度に事業を開始）を中心に、PRプラットフォーム事業をグループ全体の進化の1つの軸とすべく、顧客獲得に積極的に注力しました。なお前連結会計年度において非連結子会社であった株式会社マテリアルリンクスは、重要性が増したため当第3四半期連結累計期間に連結子会社化しました。

以上の結果、セグメント売上高は908,159千円（前年同期比320.0%増）、セグメント利益は185,036千円（前年同期比265.2%増）となりました。

（注）1. マーケティングコミュニケーションとは、ブランド・商品・サービスとそのステークホルダーが双方にコミュニケーションを取りながら行う販売促進等の活動を指し、その手法には、広告やプロモーション、PR、デジタルマーケティング等が含まれております。

2. PRとは、Public Relations（パブリックリレーションズ）の略であり、企業や団体がその組織を取り巻く社会・人々との良好な関係を構築するための活動を指しております。

またPR発想/ストーリーテリングとは、トライブ（共通の価値観や興味を持つ人々が集まってできるコミュニティ）から逆算した情報流通設計により、より多くの人と深い関係性を構築しやすい発想術と定義しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ593,892千円増加し、3,048,794千円となりました。主な要因は、売掛金が383,204千円、現金及び預金が175,337千円、前払費用が22,501千円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,964,414千円増加し、3,405,998千円となりました。主な要因は、株式会社トレプロの株式取得によりれんが934,270千円、繰延税金資産が575,105千円増加したこと等によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2,558,307千円増加し、6,454,793千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,145,072千円増加し、2,708,350千円となりました。主な要因は、短期借入金が414,502千円、1年内返済予定の長期借入金が320,792千円、買掛金が125,444千円、未払法人税等が108,800千円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,232,474千円増加し、1,353,232千円となりました。主な要因は、長期借入金が1,229,334千円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,377,546千円増加し、4,061,582千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ180,761千円増加し、2,393,211千円となりました。主な要因は、株主配当金の支払が250,436千円、自己株式の取得が245,931千円があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が590,269千円、自己株式の処分により85,889千円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年10月14日の「2025年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想等は、当社が発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,261,264	1,436,602
電子記録債権	21,971	-
売掛金	991,517	1,374,722
仕掛品	38,763	47,086
前払費用	102,396	124,897
その他	41,759	72,352
貸倒引当金	△2,770	△6,865
流動資産合計	2,454,902	3,048,794
固定資産		
有形固定資産	116,229	177,538
無形固定資産		
のれん	753,553	1,687,823
その他	50,572	47,800
無形固定資産合計	804,125	1,735,624
投資その他の資産		
敷金及び保証金	247,131	302,175
繰延税金資産	221,121	796,227
その他	53,575	395,033
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	521,228	1,492,836
固定資産合計	1,441,583	3,405,998
資産合計	3,896,486	6,454,793
負債の部		
流動負債		
買掛金	607,626	733,070
短期借入金	115,000	529,502
1年内返済予定の長期借入金	64,748	385,540
未払金	407,424	498,376
未払法人税等	183,852	292,653
前受金	33,142	60,756
賞与引当金	1,833	5,885
その他	149,650	202,565
流動負債合計	1,563,278	2,708,350
固定負債		
長期借入金	48,266	1,277,600
その他	72,491	75,632
固定負債合計	120,757	1,353,232
負債合計	1,684,035	4,061,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	117,140	117,140
資本剰余金	312,447	305,602
利益剰余金	1,903,950	2,246,197
自己株式	△176,465	△336,507
株主資本合計	2,157,072	2,332,433
新株予約権	1,150	1,128
非支配株主持分	54,226	59,649
純資産合計	2,212,450	2,393,211
負債純資産合計	3,896,486	6,454,793

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	4,708,587	6,662,689
売上原価	1,827,117	2,714,001
売上総利益	2,881,470	3,948,687
販売費及び一般管理費	2,220,240	2,917,652
営業利益	661,230	1,031,035
営業外収益		
受取利息	516	2,255
受取手数料	1,509	2,009
投資有価証券売却益	1,106	—
ポイント還元収入	573	1,436
その他	2,036	957
営業外収益合計	5,742	6,659
営業外費用		
支払利息	1,849	16,938
子会社株式取得関連費用	—	7,887
支払手数料	—	13,421
その他	—	7,345
営業外費用合計	1,849	45,593
経常利益	665,123	992,101
特別利益		
固定資産売却益	—	420
事業譲渡益	—	15,000
その他	28	4
特別利益合計	28	15,424
特別損失		
固定資産除却損	49	—
特別損失合計	49	—
税金等調整前四半期純利益	665,102	1,007,526
法人税等	252,024	411,834
四半期純利益	413,077	595,692
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	5,422
親会社株主に帰属する四半期純利益	413,077	590,269

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	413,077	595,692
四半期包括利益	413,077	595,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	413,077	590,269
非支配株主に係る四半期包括利益	—	5,422

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	PRコンサル テイング事業	デジタルマー ケティング事 業	PRプラットフ ォーム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,011,687	501,317	195,583	4,708,587	—	4,708,587
セグメント間の内部売 上高又は振替高	15,190	16,418	20,662	52,271	△52,271	—
計	4,026,877	517,735	216,245	4,760,858	△52,271	4,708,587
セグメント利益	903,112	117,608	50,665	1,071,385	△410,155	661,230

(注) 1. セグメント利益の調整額△410,155千円には、セグメント間取引消去△2,010千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△408,145千円が含まれております。全社費用の主なものとは報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年9月1日 至 2026年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	PRコンサル ティング事業	デジタルマー ケティング事 業	PRプラットフ ォーム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,695,694	1,086,375	880,618	6,662,689	—	6,662,689
セグメント間の内部売 上高又は振替高	48,247	30,878	27,540	106,666	△106,666	—
計	4,743,941	1,117,254	908,159	6,769,356	△106,666	6,662,689
セグメント利益	1,095,790	201,802	185,036	1,482,629	△451,594	1,031,035

(注) 1. セグメント利益の調整額△451,594千円には、セグメント間取引消去4,878千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△456,472千円が含まれております。全社費用の主なものは報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「PRプラットフォーム事業」セグメントにおいて、2025年9月30日付で株式会社トレプロの株式を取得したため連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は1,063,305千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年11月19日開催の取締役会決議により、当第3四半期連結累計期間において、自己株式300,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が245,931千円増加しております。

(自己株式の処分)

当社は、当第3四半期連結累計期間におけるストック・オプションの行使による自己株式の処分に伴い、資本剰余金が3,494千円、自己株式が12,039千円減少しております。

また当社は、2025年11月27日開催の取締役会決議により、2025年12月23日付で当社の取締役及び当社子会社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が73,850千円減少しております。

さらに、自己株式処分に伴い、自己株式処分差損3,349千円を計上し、資本剰余金が同額減少しております。

上記の結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が305,602千円、自己株式が336,507千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において非連結子会社であった株式会社マテリアルリンクスは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、第1四半期連結会計期間において、株式会社トレプロの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	48,594千円	53,501千円
のれんの償却額	40,422	129,035

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行3行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
当座貸越極度額	1,115,000千円	1,115,000千円
借入実行残高	115,000	529,502
差引額	1,000,000	585,497